

令和7年度 広島市中学校新人陸上競技大会 大会規則及び注意事項

- 1 2025年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項、大会申し合せ事項により運営する。
- 2 2025年度ルールを適応し、不正出発をした選手は失格となる。
- 3 一部とトラック競技の予選は、タイム予選とし、上位8名が決勝に進出する。
一部男女800mは15名、1・2年男子1500mは16名の着順取りとし、決勝に進出する。一部女子1500m、男子3000mはタイム決勝とする。
- 4 二部トラック競技はすべてタイム決勝とし、同じくフィールド競技の走幅跳の試技は3回とする。
- 5 セパレートレーンでの競技の際は、接触事故防止のためにゴール後はレーンに沿ってカーブする。
- 6 一部男女800mのスタート方法は、第2レーンより1レーン2人制とし、第2コーナー出口までをセパレートとする。
- 7 競技に使用するスパイクのピンは、全天候型で長さは9mm（走高跳は12mm）を超えてはならない。
また、ニードルピンの使用はできない。
- 8 競技用靴底における最大厚さは、すべての種目において20mm以内でなければならない。【TR5.2】
- 9 選手は、胸・背部に団体名入りアスリートビブス（24cm×16cmを標準）を正しくつける。
なお、走高跳・走幅跳・棒高跳については、胸・背部のどちらかだけでもよい。
団体ビブスのない者は出場できない。長距離種目については、別にアスリートビブスを渡す。また、トラック競技の出場者（リレーはアンカーのみ）には腰ナンバー標識を渡すので右腰に正しくつける。（安全ピンを各自12本準備する）
○中長距離種目の選手については、次のようにアスリートビブスをつける。
「800mは、胸も背中も団体ビブス」
「1500mは、胸がアスリートビブス、背中は団体ビブス」
「3000mは、胸も背中もアスリートビブス」
競技運営上、変更もありうるので、それぞれ団体ビブスを準備しておく。
- 10 走高跳やリレー競技で使用するポイントマーク用のテープは各団体で準備しておく。競技が終わった選手は、自分のマーク、またはチームが貼ったマークを取り除く。
- 11 競技終了後の選手は、定められた通路を通して戻る。（正面スタンド前を通らない）
- 12 練習は、事前の申し合わせに従って補助競技場で行う。
 - ①補助競技場のフィールド内の芝生には入らない。（練習に利用できません。）
 - ②補助競技場内での投てき練習は禁止します。（メデイシンボールも不可）
 - ③補助競技場トラックのレーン使用は次のように割り振る。
 - ・1～2レーン＝中長距離用周回レーン
 - ・3～6レーン＝高速レーン（短距離やバトン練習等）※ホームストレート側の5～8レーンは時間帯によりハードル練習レーンとし、フレキハードルを設置。（男女各2レーン、5台ずつ設置。それぞれインターバルを変えた練習レーン。）
- 13 トラック及びフィールド内また、補助競技場には、選手・顧問・指導者・役員並びに生徒役員以外は絶対に立ち入らない。所定の場所で応援し、大会運営に支障をきたすことのないよう注意する。
- 14 招集について
 - ①招集は第4コーナー入口の招集所で行う。ユニフォーム・団体ビブス・スパイクなどを持参し競技ができる準備をして受ける。
 - ②招集所では、プログラムに記載されている**招集完了時刻の10分前から点呼を始める**。
 - ③点呼を受けた選手は係の誘導で競技場内に入る。
 - ④招集完了時刻は、次の表の通りとする。（プログラム参照）
 - ⑤招集を受けていない選手、招集完了時刻に遅れた選手は出場できない。また、二種目兼ねて出場

する選手で招集時刻等が重なる場合は、その旨を招集所の競技者係に申し出て許可を得る。その際に「多種目同時出場届」をできる限り提出しておくことが望ましい。

(届け用紙は、当日、受付や招集所にも準備をする。)

招 集 完 了 時 刻		
トラック競技	競技開始 20 分前まで	
	リレー	①事前に招集所でオーダー用紙を受けとる ②オーダーを記入し監督のサインを添えて、 招集完了 1 時間前までに招集所に提出する ③競技開始 20 分前までに招集を受ける
フィールド競技	棒高跳	競技開始 50 分前まで
	走幅跳	競技開始 40 分前まで
	走高跳	競技開始 30 分前まで
	砲丸投	

- 15 各種目における計測ラインを次のように定める。ただし、走幅跳は計測ライン以下でも 1 回は計測する。

走高跳	一部男子	1m20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 以後 3 cm ずつ
	一部女子	1m10 15 20 25 30 35 40 以後 3 cm ずつ
走幅跳	一部男子	4m00
	一部女子	3m20
	二部男女	計測ラインなし
棒高跳	一部男子	2m00 20 40 60 80 3m00 以後 10 cm ずつ

- 16 ハードルの高さ・インターバルは、次の通りとする。

2 年生男子 110 m H 高さ 91.4cm インターバル 13m72 - 9m14 - 14m02

1 年生男子 100 m H 高さ 83.8cm インターバル 13m00 - 8m50 - 10m50

女子 100 m H 高さ 76.2cm インターバル 13m00 - 8m00 - 15m00

- 17 一部は 8 位、二部は 3 位までに賞状を授与する。

- 18 一部は団体対抗とする。得点は、1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点…8 位 1 点とし、その合計点により、男女各 6 位までを表彰する。ただし、同点の場合は、上位入賞者の多い学校を上位順位とする。棒高跳は、参加各団体の指定競技者（申込一覧表の正選手の 2 名以内）の得点のみ加点する。男女の優勝校には優勝旗を授与する。また、リレーの優勝校には優勝杯を授与する。

- 19 団体受付・選手変更は、必ず引率教員が行うこと。また引率者の特例による参加団体は引率者が行うこと。

両日とも 団体受付 8：00～8：20 完了

選手変更 8：25 終了（以後は受け付けない）

欠場についても選手変更用紙に記入し提出する。

全体打ち合わせ 8：30～

- 20 出場団体には、生徒役員及び清掃等の分担があるので、各団体責任をもって行う。

- 21 ゴミは各自持ち帰るか所定のゴミコンテナに捨てる。

- 22 応援のみの生徒も私服では来ない。

- 23 自動販売機の利用を禁止する。飲料水は、各自が事前に準備し持ってくる。

- 24 携帯電話等を持ち込まないこと。